

平成 18 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「奨励賞」

社会福祉法人 中山梅寿会（理事長：古川 滋）

平成 8 年 4 月設立

【授賞理由】

社会福祉法人 中山梅寿会が永年取り組んできた地域全体の認知症の人の実態把握は認知症の人それぞれに合わせた生活援助や治療の提供を可能にするとともに、認知症に対する理解を深めた。また、認知症の人を地域で支えていくための実践的な活動は人びとに大いなる安心と勇気を与えた。本賞を授与するとともに、今後ますますの活躍を期待するものである。

【事業概要】

伊予市合併前の旧中山町地域（中山町生活圏域）の 65 歳以上の高齢者等を対象に、ご利用者本人及びご家族の方に対するサービスの提供を行う社会福祉法人である。平成 9 年 4 月に特養、短期、デイサービス、ケアハウス、在宅介護支援センター等が開設され、現在は、居宅介護支援事業所、生きがいデイ、精神障害者小規模作業所、高齢者共同住居、小学校単位の地域密着の小規模デイサービス及び短期事業所を三ヶ所整備計画し、一ヶ所は活動し、もう一ヶ所今年度整備し来年 4 月に開始予定している。

- ・ 地域ケア会議：高齢者の多様なニーズに見合う、保健・医療・福祉のサービスを調整し、介護予防・生活支援の観点から、効果的な予防サービスの調整や地域ケアの総合調整を行う。
- ・ 転倒骨折予防事業：高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく、健康で生き生きとした在宅での生活を送れるよう支援する。
- ・ 介護者教室：介護者のリフレッシュおよび学習の機会を持ち、介護者同士の交流を図る。
- ・ 認知症相談事業：認知症老人を抱える家族に対し、愛媛大学精神科専門医による総合相談の実施
- ・ 配食サービス：調理が困難なものに対し、栄養バランスの取れた食事を提供すると共に、当該利用者の安否確認及び健康状態に異常があったときは、関係機関への連絡を行う。
- ・ 共同住居：独り暮らしや、高齢者夫婦世帯で買い物や生活に不安を感じている方の生活を共同化することにより、高齢者の生活の質を高め健康増進を図り、介護予防を目的とする。

【事業活動・概要】

在宅介護支援センターの事業として、愛媛大学医学部精神科の認知症の専門医と旧中山町保健福祉課と協力し、町内 65 歳以上の高齢者の認知度の調査を実施し、町内の実態把握をし、確定診断をして、認知症の本人及び家族のサポートをどうするかを検討していき、認知症予防事業や介護保険の利用や診療に繋げていく。この情報を地元のホームドクターに提供し、認知症専門医（愛媛大学医学部精神科医）と連携して診療を行う。又介護者に対する啓蒙も行って、認知症に対する知識を持ってもらい、在宅での生活ができるよう支援している。